

製品名: NUDC ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab14962

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	NUDC
別名	NUDC; Nuclear migration protein nudC; Nuclear distribution protein C homolog
遺伝子 ID	10726.0
SwissProt ID	Q9Y266
免疫原	抗血清はヒト NudC 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 282-331

背景

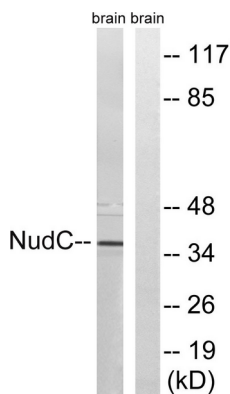
この遺伝子は、有糸分裂および細胞質分裂に必須の役割を果たす核分配タンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、有糸分裂中の紡錘体形成と細胞質分裂中の微小管組織化に関与しています。この遺伝子の擬似遺伝子は 2 番染色体上にありま

す。[RefSeq 提供、2012 年 2 月],機能:神経発生および神経細胞の移動に関与します (類似性による)。有糸分裂中の紡錘体の正しい形成と染色体分離に必要です。細胞質分裂および細胞増殖に必要です。誘導:活発に分裂している造血前駆細胞でアップレギュレーションされます。培養された赤白血病 TF-1 細胞では、顆粒球マクロファージコロニー刺激因子によってアップレギュレーションされます。赤血球前駆細胞の成熟中に強くダウンレギュレーションされます。PTM:細胞周期の M 期にセリン残基が可逆的にリン酸化されます。Ser-274 および Ser-326 のリン酸化は、有糸分裂紡錘体の正しい形成と有糸分裂中の染色体分離に必要です。PLK およびその他のキナーゼによってリン酸化されます。類似性: nudC ファミリーに属します。類似性: 1 つの CS ドメインを含みます。細胞内局在: 遊走性小脳顆粒細胞の核に隣接して糸状パターンを形成します。チューブリンおよびダイニン、ならびに微小管形成中心と共局在します。非遊走性細胞の細胞質全体に分布します。少量は核内に点状パターンを形成します。サブユニット: PLK1 に結合します。PAFAH1B1 に結合します (類似性による)。PLK1、NUDC、ダイニン、およびダイナクチンを含む複合体の一部です。組織特異性: 遍在性。胎児の肝臓、腎臓、肺、脳で高発現しています。成人の脾臓、腎臓、骨格筋、肝臓、肺、胎盤、前立腺、脳、心臓でも高発現しています。

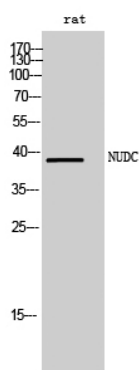
研究分野

細胞生物学、細胞周期、細胞分裂、紡錘体、神経科学、神経プロセス、神経発生

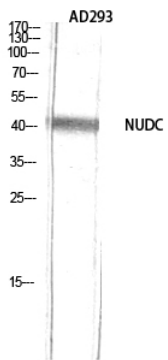
画像データ



NudC 抗体を用いたラット脳細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 2000 希釈の NUDC ポリクローナル抗体を用いたラット細胞のウェスタンブロット分析



NUDC ポリクローナル抗体 (1: 2000 希釈) を用いた AD293 のウェスタンブロット解析